



学校だより 7月

横浜市立新井小学校

No. 502

令和2年7月1日

TEL 383-3455

FAX 381-7372

(URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/arai/>)

どんな楽しみ方があるかしら

副校長 廣瀬 ユミ

夏至も過ぎ、夏野菜の収穫が楽しみとなる季節になりました。毎年同じ環境ではないのに、その年ごとに順応しながらぐんぐん成長する植物を見ると、自分もどんな環境にも対応できる強さをもたなければという気持ちにさせられます。

3月、突然給食がなくなりました。教員生活の中で環境の変化のために、給食がなくなったことは今まで一度もありませんでした。とてもびっくりさせられましたが、前向きに考え、給食に代わる楽しみを見つけようと旬の素材を生かした弁当作りに取り組むことにしました。

早速、日曜日の朝、スーパーへ買い物に行きました。まだ、開店前でしたが、多くの人が並び、店が開くのを待っていました。私も、ソーシャルディスタンスを守りながら並んでいました。その頃はまだ、マスクやトイレットペーパー・消毒液などが品薄で、そのうち米も手に入りにくくなるのではないかと心配になる時期でした。

突然、前に並んでいた方が、

「今、本当に大変ね。でも、昔もこんな時代があったのよ。戦争の時は、もっと大変だったの。物を買うことさえできなかったのだから。」

と、私に語りかけてきました。よくよく話を伺ってみると、戦争の頃は、自分はまだ小学生で、お母さんが食料を求めて、自分のために食料を一生懸命工面してくれたそうです。

「大変だったけれども、どんな環境でも命をつなぐことが大事。私が今生きているということは、命を守ってくれる人がいたからなのよ。」

私は、その方のお話を聞いているうちに、これから始まる新時代の中でも、児童のための教育活動を地域や保護者と共に守っていかなければならないという強い気持ちになりました。

学校は様々な考えや思いをもった子どもたちが通ってきます。学習や生活の中で日々、子どもたちと話をし、様々な考えを出し合っています。子どもたちも含め、人間の新しい発想が生まれ、それが実現できるよう教育を通して進めることができました。毎日が楽しくなります。新しい生活様式を早く見つけなければと焦るより、環境に合ったものを自分が見つけていくこと、新たなものを創り出すという考えをもつことが大切なのではないかと思えます。そして、どんな楽しみ方があるかしらという思いをもって日常生活を送っていきたくです。

いよいよ給食が始まりました。新しいスタイルの給食の中にも楽しみを見つけたいと考えています。

